

給与支払報告 にかかると特別徴収 にかかると給与所得者異動届出書 (記載例)

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

※ 年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
特別徴収義務者 指定番号	9999		
宛名番号	1234		
担連 当 者 先	所属	人事課 給与係	
	氏名	特徴 花子	
	電話	000-000-0000 内線 (123)	

令和 ○ 年 ×× 月 △△ 日

〒012-3456

所在地 ○○県××市△△1-2-3

フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ

氏名又は名称 株式会社 ○×商事

個人番号又は法人番号 1

※個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載

給与支払者 (特別徴収義務者) 長瀬町長様

給 与 所 得 者	フリガナ	ススキ イチロウ	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異 動 年 月 日	異 動 の 事 由	異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法	
	氏名	鈴木 一郎							
	生年月日	平成 ○○ 年 ×× 月 △△ 日							
	個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
	受給者番号	1 2 3 4 5 6							
	1月1日現在の住所	○○県××市△△3-2-1							
異動後の住所		140,000 円	6 月から 8 月まで	35,600 円	9 月から 5 月まで	104,400 円	令和○ 年 8 月 31 日	1 右から 番号を 記入	2 右から 番号を 記入

1. 特別徴収継続の場合

新しい勤務先 (特別徴収義務者) 特別徴収義務者指定番号 所在地 〒 フリガナ 氏名又は名称

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分で一括して納入する場合。
 (ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円 (6月から翌年5月分)
 (イ) 徴収済額 35,600円 (6月から8月分)
 (ウ) 未徴収税額 104,400円 (9月から翌年5月分)
 ↑
 一括徴収税額(納入額と同額)

新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するよう連絡済みです。

一括で徴収した税額を納入する月 ※1月以降の退職の場合は、原則一括徴収が基本となります。

2. 一括徴収の場合

理由 1 異動が令和○年12月31日までで、一括徴収の申出があったため
 2 異動が令和○年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日 9月20日

徴収予定額 (上記(ウ)と同額) 104,400 円

左記の一括徴収した税額は、9月分(翌月10日納入期限分)で納入します。

3. 普通徴収の場合

理由 1 異動が令和○年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
 2 令和○年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため
 3 死亡による退職であるため

※市町村記入欄

注意 「給与支払者(特別徴収義務者)」欄中の「宛名番号」欄には、この届出書に記載した給与所得者について、その特別徴収税額の通知書に記載された宛名番号を記載してください。 ※印の欄は、記載しないでください。